様式第十八の八（第１１条の４第６項関係）

変更後の認定事業適応計画の概要の公表

１．変更認定をした日付

2024 年 3 月 12 日（2022 年 3 月 28 日認定）

２．変更後の認定事業適応事業者の名称

株式会社 UACJ

３．変更後の認定事業適応計画の内容

（１）　事業適応に係る事業の目標

当社は、2021 年 5 月に「UACJ VISION 2030」を公表し、その中で「2030 年度におけるサプライチェーン全体での CO_2 排出量を 2019 年度比 22%削減（BAU 比 ※1)」することを KPI として設定しています。今回の計画では、製造所のアルミニウム用溶解炉に係る設備をエネルギー効率の優れた設備に更新します。これにより、製品の製造時に排出される CO_2 を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

※1 BAU(Business as usual)：何も対策を講じずに現状（生産量、品質構成）を維持した状態

（２）　その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2021 年度より事業適応を開始し、2023 年度（目標年度）までに当社全体の炭素生産性を 23.1%向上することを目標とします。

（３）　財務内容の健全性の向上を示す目標

2023 年度（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標とします。

（４）　事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

（５）　計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

23 非鉄金属製造業

計画の対象となる事業は主にアルミニウム及びその合金の圧延製品を製造するものであるため

（６）　事業適応の具体的内容

2021 年度には、名古屋製造所の空調設備を省エネ性能の高い設備に更新するとともに、福井製造所の天井照明に LED 照明を導入します。当該投資により、稼働当たりの電力費及び CO_2 排

出量は低減し、炭素生産性が向上します。

2022 年度には、福井製造所のアルミニウム用溶解炉 1 基の使用燃料を重油から LNG 燃料に転換する設備を導入するとともに、バーナーをリジェネバーナーに更新します。当該投資により、生産量当たりの燃料費及び CO_2 排出量は低減し、炭素生産性が向上します。

（7）　事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022 年 3 月

終了時期 2024 年 3 月